

# 2006年3月期 第1四半期決算説明会

2005年8月8日

日本郵船株式会社



**NYK**LINE  
NIPPON YUSEN KAISHA

# 目次

---

- 1) 2006年3月期 第1四半期決算 (P.2 - P.5)
- 2) 2006年3月期 通期予想 (P.6 - P.7)
- 3) セグメント別状況 (P.8 - P.12)
- 4) 今期のトピックス (P.13)
- 5) 補足資料 (P.14 - 17)

# 2005年6月期 決算サマリー

- 1) 05/6期決算は前年同期比、売上高/+16%、営業利益/+12%、経常利益/+13%、純利益/+27%の増収増益。  
(億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
2005年6月期		4,306		365		364		217	
2004年6月期		3,722		326		321		171	
増減	%	584	16%	39	12%	43	13%	46	27%

- 2) 海運業部門：海運業合計で 8億円の増益
- 3) 非海運部門：主要3部門合計で 36億円の改善
- 4) 為替・燃料油：(04/6期 vs 05/6期・期中平均比較)
- 為替レート           1.43円の円高 (108.71円 → 107.28円)
- 燃料油価格         \$66.12/MT高 (\$178.41/MT → \$244.53/MT)

# 前年同期比増減分析

(億円)

円高	▲ 6	今期 107.28円 / 1.43円の円高
燃料油高	▲ 50	今期 \$244.53 / \$66.12の燃料油高
海運市況変動など	48	
非海運部門の改善	26	
コスト削減	27	海運17億円、非海運10億円
新規連結	▲ 2	
合計	43	

## 経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円高で約 17 億円の減益

燃料油 \$1/MTの燃料油価格上昇で約 3 億円の減益

# 2005年6月期・前年同期比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
04/6月期	1,060	1,372	791	241	75	29	336	▲ 182	3,722
05/6月期	1,224	1,596	947	269	98	30	372	▲ 229	4,306
増減	164	224	157	28	23	0	36	▲ 48	584

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
04/6月期	91	233	12	▲ 4	▲ 22	7	4	▲ 0	321
05/6月期	64	267	20	4	▲ 3	6	4	▲ 0	364
増減	▲ 27	34	9	9	19	▲ 1	▲ 0	0	43

(売上高)	05/6	04/6	増減	増減率
不定期船	1,337	1,109	228	20.6%
タンカー	259	263	▲ 4	-1.6%
計	1,596	1,372	224	16.3%

# 上期予想に対する達成度 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
05上期予想	2,500	2,807	1,929	510	189	63	724	▲ 421	8,300
第1四半期実績	1,224	1,596	947	269	98	30	372	▲ 229	4,306
達成度	49%	57%	49%	53%	52%	47%	51%	54%	52%
Balance	1,276	1,211	982	241	91	33	352	▲ 192	3,994

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
05上期予想	206	485	49	▲ 3	12	19	15	▲ 3	780
第1四半期実績	64	267	20	4	▲ 3	6	4	▲ 0	364
達成度	31%	55%	42%	-	-	33%	27%	-	47%
Balance	142	218	29	▲ 7	15	13	11	▲ 3	416

(売上高)	第1四半期 実績	05年度 上期予想	Balance	達成度	05年度 通期予想	Balance	達成度
不定期船	1,337	2,336	-999	57.2%	4,608	-3,271	29.0%
タンカー	259	471	-212	55.0%	931	-672	27.8%
計	1,596	2,807	-1,210	56.9%	5,539	-3,943	28.8%

# 2006年3月期通期予想

(億円)

	期初予想			今回予想			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	8,300	8,500	16,800	8,650	9,050	17,700	350 4%	550 6%	900 5%
営業利益	800	750	1,550	800	750	1,550	0 0%	0 0%	0 0%
経常利益	780	720	1,500	780	720	1,500	0 0%	0 0%	0 0%
純利益	470	430	900	470	430	900	0 0%	0 0%	0 0%

為替	¥105.00	¥105.00	¥105.00	¥108.74	¥110.00	¥109.37	¥3.74	¥5.00	¥4.37
燃料油	\$230.00	\$230.00	\$230.00	\$257.27	\$270.00	\$263.63	\$27.27	\$40.00	\$33.63

為替前提 : 7月まで実績(108.12円/\$)、8月以降は110円/\$  
 燃料油価格前提: 6月まで実績(\$244.53/MT)、7月以降は\$270/MT



# 2006年3月期・通期予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
期初予想	5,034	5,539	3,989	1,122	356	126	1,514	▲ 878	16,800
今回予想	5,131	5,838	4,037	1,143	376	133	2,090	▲ 1,050	17,700
上期予想	2,548	3,064	1,938	531	220	64	766	▲ 479	8,650
下期予想	2,583	2,774	2,099	612	156	69	1,324	▲ 571	9,050
増減	97	299	48	21	20	7	576	▲ 172	900

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
期初予想	410	912	110	10	0	35	26	▲ 3	1,500
今回予想	388	932	110	12	0	35	26	▲ 3	1,500
上期予想	184	505	49	▲ 1	12	19	15	▲ 3	780
下期予想	204	427	61	13	▲ 12	16	11	0	720
増減	▲ 22	20	0	2	0	0	0	0	0

(売上高)	今回予想	期初予想	増減	増減率
不定期船	4,937	4,607	330	7%
タンカー	901	931	▲ 30	-3%
	5,838	5,539	300	5%



# セグメント別状況 ①

## 1. 海運業 - 1) / 2)

- 1) コンテナ船 : 北米航路・欧州航路ともピーク・シーズンに入り、  
足許の消席率は90%を越える。

### 輸送量実績(千TEU)

	04/4-6 (実)	05/4-6 (実)	増減	(%)	04/4-9 (実)	05/4-9 (予)	増減	(%)	04年度 通期(実)	05年度 通期(予)	増減	(%)
アジア→北米	154	163	9	6.1%	325	352	27	8.2%	656	716	60	9.2%
(消席率)	90%	84%			92%	90%			89%	88%		
アジア→欧州	89	91	3	2.8%	180	191	11	6.2%	355	392	36	10.2%
(消席率)	93%	91%			93%	93%			91%	91%		

- 2) 自動車船 : 全航路(特に中近東)好調で安定的収益を確保。

### 輸送台数実績(万台)

	04/4-6 (実)	05/4-6 (実)	増減	04/4-9 (実)	05/4-9 (予)	増減	04年度 通期(実)	05年度 通期(予)	増減	(%)
全航路	58	71	13	122	139	17	256	271	15	5.9%

## セグメント別状況 ②



## 1. 海運業 - 3)/4)

- 3) 撒積船 : 期中の市況は下落したが、逆鞘船の解消や船腹と貨物のバランスにより、前年同期比増益を確保。

輸送量実績(万トン)

	04/4-6 (実)	05/4-6 (実)	増減	(%)
単体 + NGB	2,848	2,969	121	4.1%

※NGB = NYKグローバルバルク(株)

- 4) タンカー : WSは前年を下回って推移しているが、市況には底打ち感が台頭。

輸送量実績(万トン)

	04/4-6 (実)	05/4-6 (実)	増減	(%)
単体	677	689	12	1.8%

# セグメント別状況 ③



## 1. 海運業 - 5)/ 6)

### 5) その他ドライ・バルク船

- ・ チップ船 : 長期契約主体で堅調。
- ・ オープン・ハッチ・バルカー／冷凍船  
: 好調な市況に支えられ、前年同期比増収増益。

### 6) LNG船

- ・ タンゲー / ラスガス III プロジェクトの落札に成功。
- ・ LNG需要の拡大をにらみ、着実な体制整備とシェア拡大を継続。

# セグメント別状況 ④

## 2. 物流事業

### 1) 物流部門 (NYK Logistics) :

New Horizon 2007 (LSP II) に沿った収益改善策を推進し、05/6期は経常利益黒字化を達成

▲ 9 億円 (04/6期) → +4 億円 (05/6期)

### 2) YAS部門:

前年同期比増収ながら微減益

# セグメント別状況 ⑤

## 3. ターミナル事業

- 1) 取扱量は順調に増加。
- 2) オペレーションの合理化と労働者増により YTI (ロサンゼルス) に混乱なし。
- 3) セレス・パラゴン ターミナルに8月6日より GA船が寄航開始。

## 4. 客船事業

- 1) 飛鳥は好調維持。
- 2) クリスタル・クルーズはブッキング好調。

# 今期のトピックス

## 1. NCA連結子会社化

### 1) New Horizon 2007に掲げる戦略

「ロジスティック・インテグレータへの飛躍」  
への足場固め

### 2) 今期業績予想／中期計画は見直し中

## 2. 中国人民元切り上げの影響

1) 切り上げ幅が想定より小さく、当面影響はない

2) 将来にわたっては軟着陸を期待

3) 中国向け原料・製品の輸入増期待

# 補足資料

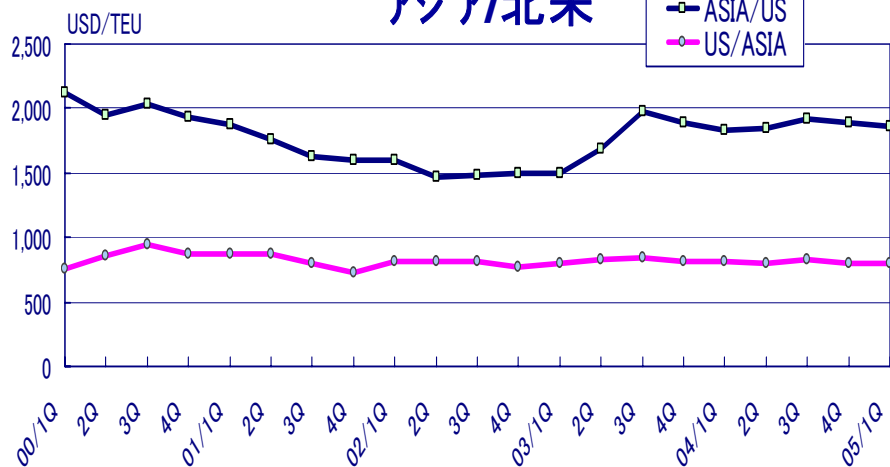




# 海運市況(定期船)

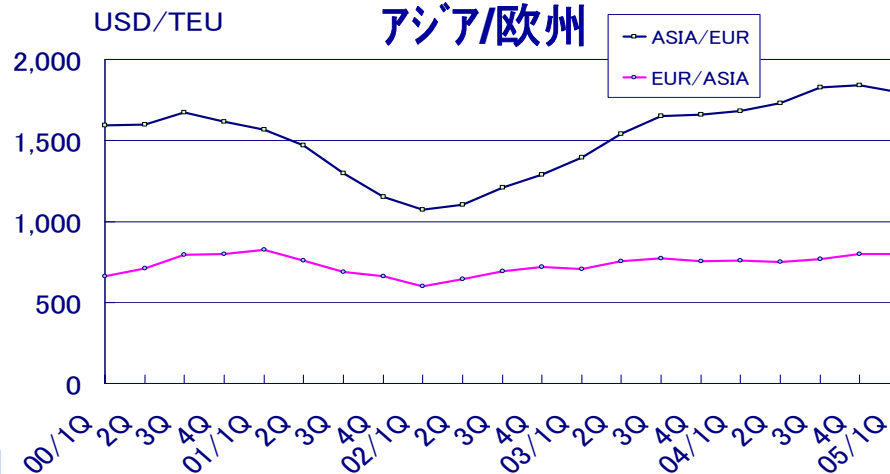
## コンテナ運賃指標

### アジア/北米



運賃指標	04/1Q	1825	05/1Q	1867	+42(+2%)
------	-------	------	-------	------	----------

### アジア/欧州



運賃指標	04/1Q	1681	05/1Q	1795	+114(+7%)
------	-------	------	-------	------	-----------

## コンテナ積高実績

		アジア → 北米									アジア → 欧州								
		スペース			積高			消席率			スペース			積高			消席率		
		四半期	半期	累計	四半期	半期	累計	四半期	半期	累計	四半期	半期	累計	四半期	半期	累計	四半期	半期	累計
04年度	第1四半期	171	355	171	154	325	154	90%	92%	90%	96	192	96	89	180	89	93%	93%	93%
	第2四半期	184		355	172		325	94%		92%	97		192	91		180	94%		93%
	第3四半期	181	381	536	159	330	484	88%	87%	90%	98	290	85	176	265	87%	88%	91%	
	第4四半期	200		736	172		656	86%		89%	102		199		90	355		89%	91%
	計	736	736	656	656	89%	89%	392	392	355	355	91%	91%						
05年度	第1四半期	194		194	163		163	84%		84%	101		101	91		91	91%		91%
	第2四半期																		
	第3四半期																		
	第4四半期																		
	計																		

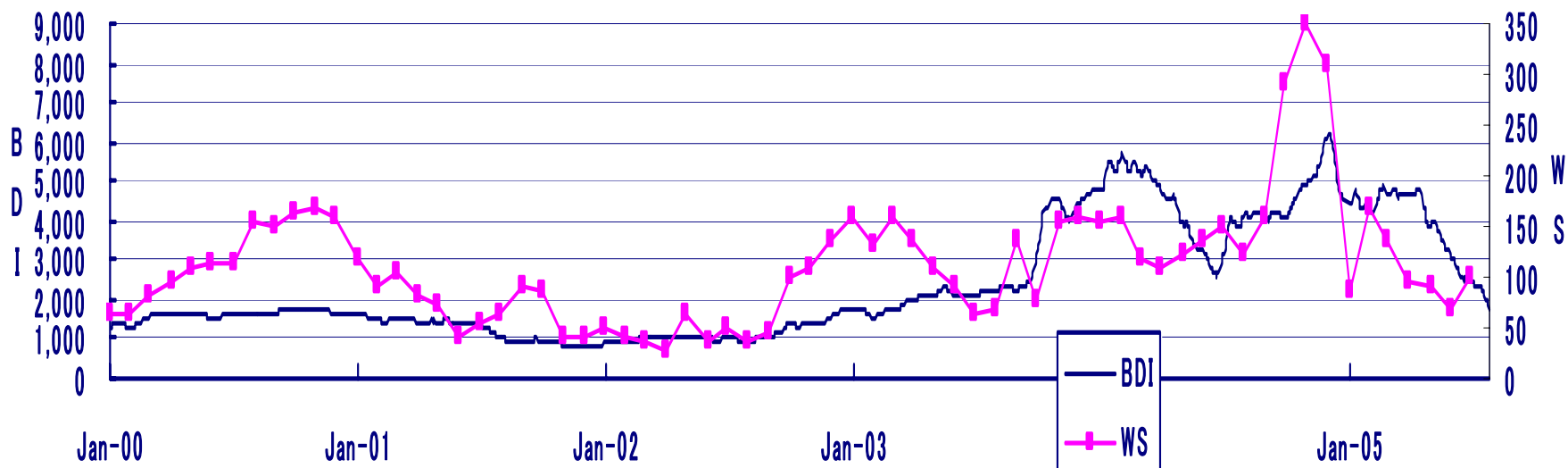




# 海運市況（バルク・エネルギー）

## 不定期船・タンカー運賃指標の推移

（'05/7/29現在）



	04/06	05/06	増減	
WS	123.33	84.50	▲ 39	-31%
BDI	3,638	3,574	▲ 64	-2%

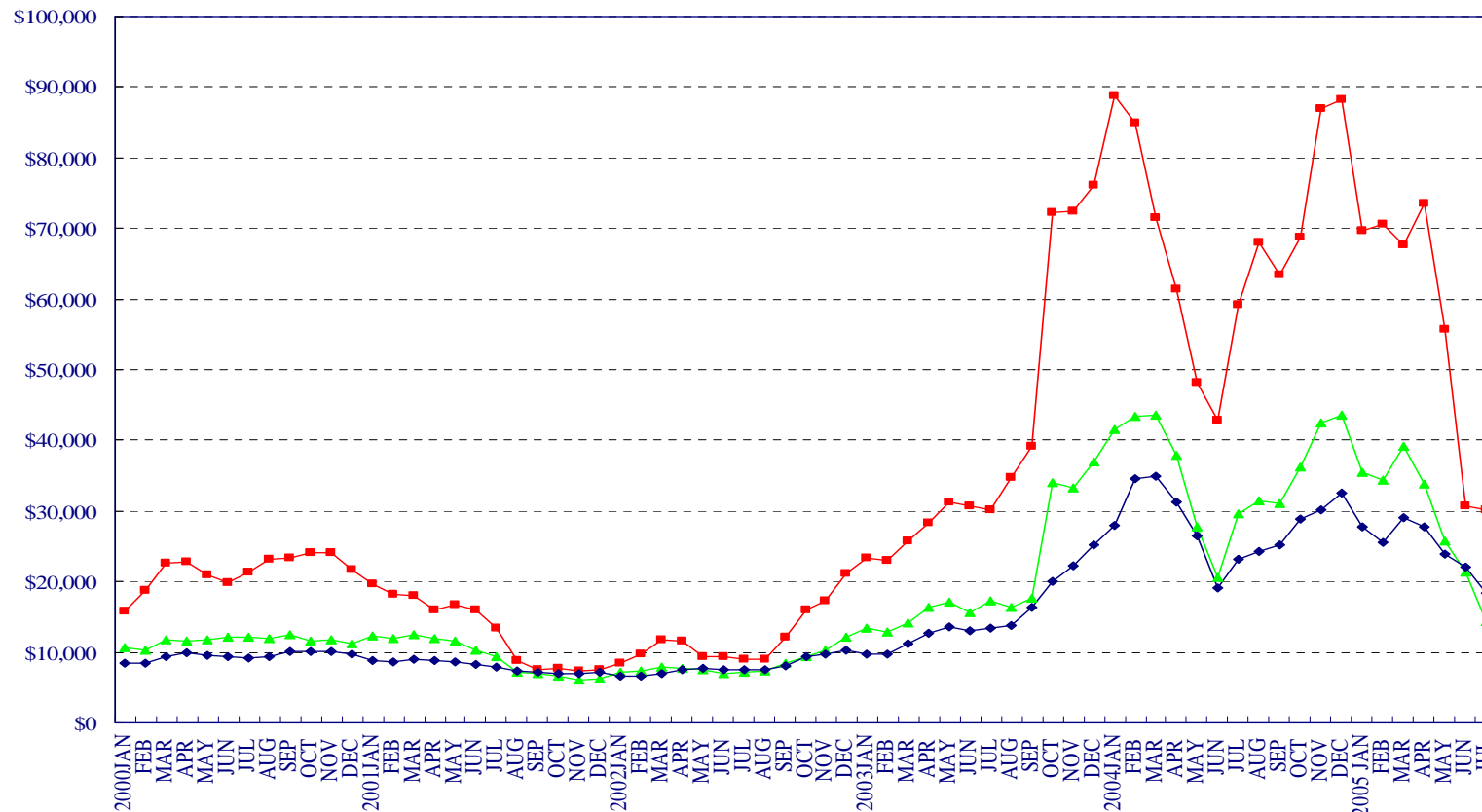


# ドライバルク市況の推移

## (1年契約 定期傭船料)

(\*05/8/8現在)

■ ケーブサイズ平均(165,000dwt basis) 
 ▲ ハナマックス平均(72,000dwt basis) 
 ◆ ハンデイマックス平均(45,000dwt basis)



期間: 2000年1月 - 2005年7月

(日本郵船調べ)